



ネピアグラスは、草丈が4尺以上になる大型の夏の牧草です。このネピアグラスには、草丈が1、2尺程度にしかならない小型の矮性(わいせい)種もあります。矮性ネピアグラスは一般的な夏の牧草であるソルガムと比べて、茎よりも葉の割合が多く、栄養価も高く、干物収量が同等で、牛がよく食べます。

矮性ネピアグラスは、高水分であるため、夏のサイレージ調製では、酪酸の割合が高く不良発酵となることがあります。そこで、矮性ネピアグラスの水分含量を低下させることで、サイレージとして良好な発酵品質になるか検討しました。

8月にモーターで刈り取りを行なった場合とで、発酵品質を比較しました。高水分では、酪酸の割合が高い不良発酵のサイレージであったのに対して、低水分では、乳酸の割合が高い良質なサイレージとなりました。

矮性ネピアグラス

1日ほど天日干し 良質サイレージに

つた後、1日天日干しを行い低水分(水分含量55%)の状態のサイレージにした場合と、天日干しを行わずに高水分(水分含量85%)のままサイレージにし

サイレージとなりました。夏に矮性ネピアグラスをサイレージ調製する場合、1日程度天日干しを行い、水分含量を60%以下にすることにより、発酵品質が良好なサイレージになることが分かりました。

(県農林技術センター畜産研究部門 深川聡)

サイレージの発酵品質

水分	有機酸組成			サイレージ 評点
	乳酸 (%)	酢酸+プロピオン酸 (%)	酪酸以上 (%)	
高水分	0.6	1.0	1.2	45(不良)
低水分	2.5	0.6	—	84(良)

※サイレージの評点が80点以上で良、60以上80未満で可および60未満で不良